



2021年1月28日

各位

会社名 日清紡ホールディングス株式会社  
代表者名 取締役社長 村上 雅洋  
(コード番号 3105 東証第一部)  
問合せ先 IR 広報グループ  
(TEL 03-5695-8854)

### 業績予想の修正及び特別利益・特別損失(個別)の計上に関するお知らせ

当社は、2020年11月12日に公表した2020年12月期(通期)の連結業績予想を修正いたしますのでお知らせいたします。また、2020年12月期(通期)の個別決算において特別利益及び特別損失を計上する見込みです。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

2020年12月期(通期)連結業績予想の修正(2020年1月1日~2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 462,000	百万円 △4,000	百万円 △3,000	百万円 1,000	円銭 6.01
今回修正予想(B)	457,000	1,200	3,400	13,500	81.13
増減額(B-A)	△5,000	5,200	6,400	12,500	
増減率(%)	△1.1%	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年12月期 通期)	509,660	6,482	11,703	△6,604	△39.45

#### 修正の理由

2020年12月期第4四半期連結会計期間の世界的な自動車生産台数の回復等により、ブレーキ事業や精密機器事業の売上は増加しましたが、無線・通信事業、マイクロデバイス事業および繊維事業の売上が減少した結果、当社グループの売上高は前回予想を下回る見込みです。

営業利益、経常利益は、全社的な原価改善活動や経費削減活動の進展に加え、ブレーキ事業や精密機器事業の売上増加等により前回予想を上回る見込みとなりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、減損損失の増加があったものの、経常利益の増加に加え投資有価証券売却益の増加等により前回予想を上回る見込みです。

## 2. 個別決算における特別利益及び特別損失の計上について

当社は、連結子会社である TMD 社に対してグループローンによる資金の貸付を行い、この資金により TMD 社は借入金を全額返済いたしました。なお、当該借入金は当社が債務保証を行っていたものです。

これにより、当社は関係会社債務保証損失引当金戻入額 12,977 百万円を特別利益として計上する見込みです。また、当社は TMD 社への貸付金に対し財政状態を踏まえ関係会社貸倒引当金繰入額 18,114 百万円を特別損失として計上する見込みです。

なお、上記の関係会社債務保証損失引当金戻入額及び関係会社貸倒引当金繰入額は、連結決算において消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(注) この資料に記載されている業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績はさまざまな要因の変動により予想数値と異なる可能性があります。

以上